

概要と見方

次項が行

あ行

- ・ [愛知県 小坊vs.消防\(あいちけん しょうぼうばーさす.しょうぼう\)\[無\]\[スラング\]](#)
- ・ [悪夢\(あくむ\)\[運命、全\]\[ステージ、サブタイトル、心情\]](#)
- ・ [悪夢は再び\(あくむはふたたび\)\[種、全\]\[ステージ\]](#)
- ・ [アシスト\(あしすと\)\[全\]\[システム\]](#)
- ・ [足付き\(あしつき\)\[種\]\[戦艦名\]\[セリフ\]](#)
- ・ [穴座\(あなざ\)\[全\]\[コース\]](#)
- ・ [アナザーガンダム\[G、W、X\]\[用語\]](#)
- ・ [アナハイム・エレクトロニクス社\(あなはいむ・えれくとろにくすしゃ\)\[1st、08、ポケ、83、Z、ZZ、CCA、UC、F91、V\]\[企業名\]](#)
- ・ [アリー・アル・サーシェス\(ありー・ある・さーしえす\)\[00\]\[人物名\]](#)
- ・ [アルカ\(あるか\)\[無\]\[雑誌\]](#)
- ・ [アルチ\(あるち\)\[全\]\[コース\]](#)
- ・ [アレルヤ・ハプティズム\(あれるや・はぷていずむ\)\[00\]\[人物名\]](#)
- ・ [生贄\(いけにえ\)\[Z\]\[スラング\]](#)
- ・ [一機だけ出てないあのガンダム\(いっきだけでないあのがんだむ\)\[W\]\[機体名\]](#)
- ・ [イノベーター\[00\]\[用語\]](#)
- ・ [イノベイド\[00\]\[用語\]](#)
- ・ [インカム\(いんかむ\)\[無\]\[用語?\]](#)
- ・ [打ち上げ花火\(うちあげはなび\)\[Z\]\[スラング\]](#)
- ・ [エウゴ\(えうご\)\[Z、ZZ\]\[勢力名\]](#)
- ・ [エウティタ\(えうていた\)\[Z\]\[略称\]](#)
- ・ [援誤\(えんご\)\[無\]\[スラング\]](#)
- ・ [遠征\(えんせい\)\[無\]\[スラング\]](#)
- ・ [落合博満\(おちあいひろみつ\)\[無\]\[人物名\]](#)
- ・ [オードリー・バーン\(おーどりー・ばーん\) \[UC\]\[人物名\]](#)
- ・ [起き攻め\(おきぜめ\)\[全\]\[テクニク\]](#)
- ・ [お立ち台\(おたちだい\)\[種\]\[ステージ、スラング\]](#)
- ・ [終わりの無いディフェンス\(おわりのないでいふえんす\)\[V、運命\]\[スラング\]](#)

愛知県 小坊vs.消防(あいちけん しょうぼうばーさす.しょうぼう)[無][スラング]

- ・ ガンガンが原因で起きたゲーセン内の事件で、ガンダムというネームバリューもあってかネットや新聞などに載った。対戦で勝った後、煽った男性Aが煽られた男性Bに殴られたという内容。愛知県で起きた事、煽った男性Aの礼儀の無さが小学生級である事、殴った男性Bが消防士であった事からこう呼ばれる。
- ・ 殴るのめ良くないとは言え、そもそも何もされていないのに人を侮辱した時点で殴られても文句は言えません。店員さんや他のお客さんに迷惑をかけないためにもマナーはしっかり守りましょう。台パン等もたまに見かけますが、筐体を破壊した場合はウン百万クラスの賠償金が発生する可能性もあります。
- ・ とはいえ、こんな事が出る程件の作品のクレイジーな仕様は凄まじかった、という事も言えるか。次回作のロケテ時からの調整の姿勢がこの作品と雲泥であったことも、あながち無関係では無かったりして、という邪推も、マナーの事ももちろんだが、エンタメであると期待されるものに過分のストレスの貯まるような作品を提供されるのも勘弁願いたい、という気持ちも客としてはある。
- ・ ちなみにこの事件が起きたゲームセンターには次回作の「NEXT」の入荷がかなり遅かったとか...

悪夢(あくむ)[運命、全][ステージ、サブタイトル、心情]

- ・ ノーマルコースAルート5面のサブタイトル。元ネタは「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」のサブタイトルでシンがキラを倒した回。味方はシンのインパルスで敵はキラ搭乗機であるストライクガンダムとフリーダムガンダムしか出ない、5面の中では楽。
- ・ ガンガン時代の解禁はCPU戦中心で多くのユーザーに不評であり、とりわけ3回目と4回目の解禁には不満が続出した。その時を皮肉って用いられることもある。
- ・ 開幕にキラが「何なんですか、貴方達は!？」と叫ぶのが印象深いステージである。いきなり2人で襲いかかって来るのだから気持ちは分からないでもない。

悪夢は再び(あくむはふたたび)[種、全][ステージ]

- ・ ガンダムVSガンダム、ハードコースBルートステージ7のステージタイトル。ステージは種、ソロ時僚機は試作3号機、登場敵機はグフ・カスタム、フリーダム、V2。
- ・ 「悪夢は再び」は種、「悪夢」は運命で使われたサブタイトル。つまり、サブタイトルでは「悪夢は再び」の方が「悪夢」より先に使われていたのである。これは、「悪夢は再び」の指す悪夢は種のアバンで語られる血のバレンタイン事件のことであり、要するに核兵器が悪夢ということである。対して「悪夢」はフリーダム(キラ)が撃墜される事がアークエンジェル勢とアスラン(とキラのファンの方々)にとって悪夢ということであると思われる。だが、主人公であるシンが敵であるキラを見

事打ち倒す回を『悪夢』と名付けるのは脚本的にどうなのだろう。

アシスト(あしすと)[全][システム]

- ガンガンから追加されたシステム「モビルアシスト」の事。機体毎にそれぞれゆかりのある機体が援護してくれる。アシストごとに使用回数制限(再出撃まで回復しない)があるものの、出せば後は自動で攻撃や防御行動を取ってくれるので積極的に使うと良い。出すデメリットもほとんど無い(出す時の僅かな硬直ぐらい)
- アシスト機体そのものは特に作りこまれておらず、MSタイプでも出てきた姿勢のまま攻撃するであることがほとんどである
- ベルガ・ギロスやレジェンドガンダムなどの機体を使いたいにも関わらず、アシストで出たのでプレイヤーキャラでの参戦が絶望的となることから一部では否定意見もあるが、戦略の広がりや個性付け、そしてオールスターという名目上や基本的なシステムの関係上出られることがほぼないであろうガンペリーやホバートラックが出られることもあり、概ね好評である。続編では、アシスト機がプレイヤー機に昇格することもある。
- EXVSでは廃止されたが、一部の機体が武装として登場している。続編のFULLBOOSTでは大半の機体にアシスト武装が実装された。

足付き(あしつき)[種][戦艦名][セリフ]

- ガンダムSEEDにおける地球連合軍所属(しかし後に離反する)の戦艦・アークエンジェルの事を指す。「足付き」と劇中の人物に言われるのは、足のような形をした陽電子砲が2基あるため。
- ガンネクでイザークが言う「足付き」とは、まさにこの事である。アークエンジェルは、イザーク因縁の相手・ストライクを擁する戦艦でもある。
- ちなみに脚付きと言えば、アークエンジェルの単なる色違い、つまり同型艦であるドミニオンも…

穴座(あなざ)[全][コース]

- ガンガンにおける第5回解禁で登場したアナザーコースのこと。全10ステージ。難易度的にはノーマルとさして変わらない。前のステージで登場した敵エースが次の僚機になり、バトルステージとステージサブタイトルの作品が一致しないのが特徴。このステージ最大の売りは新機体解禁を望む多くのユーザーが待っていたガンダムエクシアが登場することである。結果的には相変わらずCPU戦の解禁だが前述の通りエクシアが出たため、そこまで不満は出なかった。

アナザーガンダム[G, W, X][用語]

- 「[機動武闘伝Gガンダム](#)」以降に制作された、「[機動戦士ガンダム](#)」より続く宇宙世紀とは違う世界を舞台にした作品群の事。another gundam、宇宙世紀シリーズとは違った解釈のモビルスーツ(一部ファイター)の活躍を楽しむ事が出来る。[ガンダム](#)ではこれらの世界も含め(これ以降に放映された新しいガンダムシリーズを含めるかは解釈が分かれる)、全てのガンダムシリーズが同じ時系列にあるという設定でストーリーが展開した。
- 以降の作品をどう呼ぶかについては不明だが、参考として『SDガンダム Gジェネレーションウォーズ』ではG, W, Xとは「アナザージェネレーション」、種系と00は「ニュージェネレーション」とされていた。

アナハイム・エレクトロニクス社(あなはいむ・えれくとろにくすしゃ)[1st, 08, ポケ, 83, Z, ZZ, CCA, UC, F91, V][企業名]

- 宇宙世紀シリーズに登場するコングロマリット(軍産複合企業)。北米のアナハイムに本社を置き、月を拠点としている。元々は中小規模の家電メーカーであったが、一年戦争後にジオン系や戦闘機の企業への吸収合併・買収を繰り返していき、兵器業界の最大手にまでの上り上がった。キャッチコピーは「スプーンから宇宙戦艦まで」。
- ティターンズ・エウゴ・ネオジオンなど陣営に関係なく兵器の開発製造や裏取引を請け負うことから「死の商人」と揶揄されることもしばしば。しかし、フォーミュラ計画でのサナリィの台頭の他、全陣営のMS開発を独占していた驕りもあってか技術レベルも他組織より低下した結果ジェガンのモデルチェンジを繰り返すだけとなり、宇宙世紀100年代にはかつての勢力は失っている。
- 劇中での描写はTV版のZが初出であり、1st本編には登場していない。なお、安彦良和による漫画「機動戦士ガンダムTHE ORIGIN」ではアムロの父で連邦の技術士官のテム・レイがアナハイム社の技術者として描かれている。
- ゲーム内では、クワトロが出資者(アナハイム社の上層部)の無理難題に愚痴をこぼしたり、パナージがいずれはユニコーンのような機体を作るのかと戸惑うシーンがある。

アリー・アル・サーシェス(ありー・ある・さーしえす)[00][人物名]

- ・「機動戦士ガンダム00」代表としてEXVS家庭版から[アルケーガンダム](#)に搭乗し、参加している。詳細はそちらを参照されたし。
- ・いわゆるトランザム格闘とされる連続切りは彼に対して行ったものである。

アルカ(あるか)[無][雑誌]

- ・エンターブレイン社から発行されているアーケードゲーム専門雑誌「アルカディア」のこと。本シリーズも特集記事が組まれたことがある。また、各種アーケードゲームの攻略ムックも刊行、発売され、本シリーズも3作とも発売されている。
- ・有用な情報が載っている事もあり、ゲームセンターに大体1冊は置いてあるので一読するといいかも。

アルチ(あるち)[全][コース]

- ・ガンガンにおける第3回解禁で登場したアルティメットコースのこと。全12ステージ。僚機がない場合や、10機以上倒す必要が出てくるステージが当たり前のように出てくる。また、その時点で登場していなかったガンダムエクシアを除いてドム以外のすべての機体が登場する。名前付き敵パイロットは出ない(故に敵のGCOも無い)。ちなみに各ステージのサブタイトルにはすべて「試練」とつく。そのあまりの高難易度から「お金の無駄ルート」等と皮肉られることも。
- ・やあ(・`・´)ようこそ、「アルティメット」コースへ。「一の試練」は小手調べで2対2だからまずは落ち着いて欲しい。うん、「究極」なんだ。すまない。ノーマルでさえ前シリーズよりも難度が高いからね。謝って許してもらおうとも思っていない。でも、「超越試練」をクリアした画面を見たとき、きっと言葉では言い表せない「達成感」みたいなものを感じてくれたと思う。殺伐としたゲーセンでそういう気持ちを忘れないで欲しい。そう思ってこのコースを作ったんだ。じゃあ、もう一度お金を入れようか、誰がするか！ポケエエエエエエエエ！！！！！！

アレルヤ・ハプティズム(あれるや・はぷていずむ)[00][人物名]

- ・刹那・F・セイエイ、ロックオン・ストラトス、ティエリア・アーデと共にガンダムマイスターとしてソレスタルビーイングに参加している青年。1stシーズンでは[ガンダムキュリオス](#)、2ndシーズンでは[アリオスガンダム](#)、劇場版では[ガンダムハルーン](#)に搭乗している。
- ・劇中では『超兵』の力を活かした高速戦闘をクライマックスで見せるのがお決まりとなっており、そういう意味では見せ場もあるものの、その代わりにクライマックス以外では目立たないため、『ハプラルレヤ』という造語が出来てしまい、監督が担当声優に『本意ではない』と謝罪までした不遇なキャラクター。とある劇中での信じられない役目から『GN電池』とも言われてしまっている。
- ・VS.シリーズでも本編をリスペクトするかのようマイスターズで唯一プレイアブル機体として彼のMSは参戦しておらず、EXVS.の家庭用版で新規参戦したロックオン(ニール)が刹那に『アレルヤはどうした？(アレルヤ以外のマイスターは全員参戦している)』と言うなど、こちらでもネタにされてしまっている。ただし、家庭版で追加された劇場版00のPVではアレルヤも喋っており、参戦が期待されるが2012年2月現在で登場する様子はない。

生贄(いけにえ)[Z][スラング]

- ・CPU戦でZガンダムと一緒に登場し、Zガンダムを覚醒させるために存在する低コスト機体群のこと。登場するときには露骨に耐久力が低く、カミーユが切れる姿を存分に見ることができる。「五の試練」以外はZガンダムを先に倒してしまえば、後は雑魚狩りになるので倒し方を間違えないようにしたい。
- ・難易度的にはガンガンノーマルD-4面「ゼータ発動」(初級)、NEXTのC-7EX(中級)、ガンガンアルティメット5面「五の試練」(上級)といったところか。斬られたり突き刺されたりしないよう、注意して欲しい
- ・EXVSでは「体を通して出る力」が消滅(覚醒へ移行)したため無くなってしまった。カミーユにとってはよかったのだろうか

一機だけ出てないあのガンダム(いきだけでてないあのがんだむ)[W][機体名]

- ・「新機動戦記ガンダムW」において主要なWチーム5人のうちたった一機だけ出られなかったアルトロンガンダムのこと。NEXTにおいてW枠は5機と発表された際、全員出るかと思われた。実際はヒイロ、デュオ、トロワはプレイヤーキャラクターとして、カトルはデュオのアシスト(のパイロット)で登場するにもかかわらず張五飛(チャン・ウーフェイ)だけは出られなく、ACのEDでもGチームがそろふ際に一人だけいなかった。そのため解禁して欲しい機体としてよく名前が挙がっていた。
- ・ただでさえ五飛は独特の考えを性格や言動をネタにされることが多かったのに(ネットでの通称はごひで完全に定着している)さらにネタ性が強くなってしまった。

- ちなみに本作のステージの1つの「コロニー内部」はアルトロンガンダムの改修前であるシェンロンガンダムの製造地であるL5コロニー。
- 家庭用「NEXT PLUS」の発表に伴い、まさかの新参戦「Endless Waltz」枠でサプライズ登場。これでもう不遇キャラとは呼ばせない！...が、今度はカトルがネタ及び不遇キャラにされているエンディングでアルトロン(ナタク)がやっと出てきたと思ったらサンドロックがハブられまたWのGチームがそろわない事態に...
- そのサンドロック改はNEXT PLUSモードにCPU専用として登場。操作することは出来ず、声も無い。
- これでGチームはそろったが前期主役機であるウイングガンダムが省られている。(後継機であるアルトロンやデスヘルと違ってウイングゼロとウイングははまったく別機体)ちなみにこのウイング前期主役機というカテゴリーでも一機だけ出ていない。原作でも扱いの悪い機体であったが...

イノベーター[00][用語]

- イオリア・シュヘンベルグが定義した高い相互理解能力を持ち、人類を導くと言われる進化した人類であり、脳量子波による感応能力や超人的反応速度を持つ。また後述のイノベイドよりレベルの高い脳量子波を扱える。ダブルオーライザーに搭載されているツインドライブシステムによって生成される高純度のGN粒子を人間が浴び続けるとイノベーターへと進化することが出来る。劇中でイノベーターへと進化するのは刹那1人だけである。またよく間違えられるが後述のイノベイドのように肉体が強化されているわけではなく、あくまで脳量子波が扱える人間である。
- 劇場版でイノベーターになると状況把握能力、空間認識能力、脳量子波の拡大、細胞の変化による肉体の強化、GN粒子散布領域における脳量子波による意識共有が可能と言われている。劇中で、覚醒要素を持った全世界の一般市民が登場している。エピローグの2354年には、人類の4割がイノベーターへ覚醒し、その一部が外宇宙へ進出している。
- 覚醒条件は不明だが、上記の他に[ダブルオーライザー](#)のトランザムバーストの影響を受けて急速に覚醒する。(現在該当者は1名)

イノベイド[00][用語]

- ソレスタル・ビーイングの計画を進める謎の集団。その真相は演算処理システム『ヴェーダ』によって造られた生体情報端末。遺伝子操作による人類を超越した身体能力と、体内のナノマシンによるテロメア修復によって不老の肉体を持ち、GN粒子を触媒とした脳量子波による量子通信によって、同タイプのイノベイドと思考を共有したり、ヴェーダと直接リンクが出来る。リーダー格は[リボンズ・アルマーク](#)。またリボンズ・アルマークのように『ヴェーダ』に上記以外の特別な能力を付与されている個体もいる。[ティエリア・アーデ](#)もイノベイドの1人だったがイノベイドの行動と対立する選択をした。
- いずれ現れる人類が進化したイノベーターを模して作られ、人類を理解し人類に革新を促す存在であり、いずれはその役目を終え滅び行く存在である。リボンズはヴェーダに付与された自らの力を過信しイノベーターと名乗った。その影響なのか、リボンズの配下のイノベイドは自分自身をイノベーターと呼んでいる。ヴェーダが世界の変化や進行方向を予想するための情報獲得手段として無自覚のイノベイドを人間の中に紛れ込ませる。これが2nd最終話のエピローグに映っている多くのイノベイドである。人間と違い頭髪が緑や紫やピンクなどいわゆるアニメ色の髪なのが大きな特徴である(フェルトはピンク髪だが、ある事情から染色しているだけ)。

インカム(いんかむ)[無][用語?]

- 筐体の売り上げの事。これが少ないと撤去の対象になりやすい。

打ち上げ花火(うちあげはなび)[Z][スラング]

- NEXTに登場するキュベレイの格闘前派生のこと。前派生すると敵を受身の取れない状態で上空に押し上げ敵が完全にダウンする、撃破する、弾切れを起こすまでファンネルがその敵を撃ち続ける。その際遠くからでもその様子が確認でき、まるで打ち上げ花火のようだと言われた事で広まった。
- 他にも「侵略の花火だよ」といいながら爆発させて相手を打ち上げるターンXの特殊格闘の特殊格闘派生やキャノンで突き刺して相手を上に打つ陸戦ガンダムのキャノンN格も花火と言えるだろう。

エウゴ(えうご)[Z, ZZ][勢力名]

- 「A.E.U.G...Anti Earth United Government(反地球連邦政府)」の略。総大将はブレックス・フォーラで本拠地は月都市グラナダ。1年戦争に勝利した地球連邦軍であったが、スペースノイドへの圧政はますます強まっていった。その状況に危機感を抱いた連邦議員兼連邦軍将校ブレックスが自身のコネクションを利用して築き上げた親スペースノイド組織。正確には軍隊ではない。当初は地味な活動しか出来なかったが、謎の男[クワトロ・バジーナ](#)の仲介でアナハイム社の支援を得ることに成功、力を蓄える。ティターンズの引き起こした30パンチ事件を契機に本格的に活動を開始した。新型ガンダム強奪を初めとして、様々な作戦でティターンズを攻撃する。中盤ブレックスが暗殺されるとブレックスの遺言でクワトロが総大将になり、ダカールにおける演説でティターンズを糾弾し世論を味方につける。アクシズとの協力作戦などでグリプス2に追い詰めるも、「グ

リブス2攻防戦」で主要メンバーのうちカミーユは精神崩壊、[エマ](#)、ヘンケン、カツは戦死、クワトロは行方不明など急速に勢いは減退する。

- ・「ZZ」でも引き続き存在しているが、アーガン以外の戦力はほとんど無きに等しかった。そのためアナハイムの支援も薄れ、組織再編などの為に連邦政府の傘下となる。そのため「スペースノイド派」であるネオ・ジオン(ハマーン・ジオン)と敵対し、「アースノイド派」である地球連邦軍と協力するなどその存在意義はもはや無くなっていった(ゲーム「ギレンの野望 アクシズの脅威」のアクシズ編でエウゴ本拠地グラナダを攻める際の演説でその点を糾弾している)。第1次ネオ・ジオン紛争後は解体および連邦軍に吸収され、後のロンド・ベル隊の母体となったと言われている。ネエル・アーガンはロンド・ベル隊所属として引き続き運用される事となったが、木星圏行きのジュピトリスIIに搬入された[ZZガンダム](#)を除くガンダム・チームの機体群([Zガンダム](#)、[ガンダムMk-II](#)、[百式](#))は連邦軍上層部の判断により秘匿されたとの説がある。

エウティタ(えうていた)[Z][略称]

- ・「機動戦士Zガンダム」を元にしたアーケードゲーム「機動戦士Zガンダム エウゴvs.ティターンズ」の略称。

援誤(えんご)[無][スラング]

- ・ネタのため、あるいは戦術上の問題で相方を意図的に誤射すること。某動画サイトにて広まった。由来は援「護」と「誤」射を掛け合わせたもの。多くの場合は緑ロック状態(=無誘導)で僚機を狙う必要があるため、意図的な誤射行為そのものが難易度の高い行為である。援誤を試みるなら、まずは敵の巻き添えにするタイプのもので練習してみると良い。
- ・対戦の人数揃い待ちなどの特殊な状況では特に意思疎通がなくとも行われる事も少なくないが、基本的には不利益な行為なので相方の了承無き場合は勝つ気がないと判断される可能性もあり**絶対に**やめましょう。ただ、このような相方を持っているなら...その相方を一生大事にしましょう。
- ・そもそもこのネタ自体を知らない人、単純に不快感を覚える人もいるわけなのでそういった人を責めたりしてはいけない。

遠征(えんせい)[無][スラング]

- ・自分のよく行くゲームセンターから遠く離れた場所へ行くこと。どの程度の距離から遠征なのかは人による。
- ・元ネタは野球やサッカー等主にスポーツで試合のために遠く離れた敵地へ赴く際に使用する「遠征」から

落合博満(おちあいひろみつ)[無][人物名]

- ・実在する元プロ野球選手で独特の感性やキャラクターと史上唯一の三度の三冠王、史上初の1億円プレイヤー、FA権行使による移籍者など、ある程度野球を知る人では知らない人はいない程の名プレイヤーにして監督としても8年間でチームを4回優勝に導いた名将、解説者としても的確な指摘による(多少野球知識があれば)非常にわかりやすく丁寧な解説で野球ファンを楽しませてくれる...のだが実はかなりのガンダムファンであるのは有名。エピソードは枚挙に暇がない程でその辺の「ガンダム好き」を自称するお笑い芸人など軽く凌駕するレベルで、エピソードを下記に挙げると。
 - ・少なくとも00までの映像作品全て視聴済み
 - ・引退した後あまりに暇なため量産型ゲルググ(同キット)を8体作る
 - ・ガンダム好きを知られたスポーツ新聞記者に好きなガンダムとして「ウイングガンダムゼロカスタム」と回答した際、実際の紙面では「ウイングガンダム」にされており激怒する
 - ・「ガンダムになれそうな選手はいるか?」と言う問いに対し「俺がガンダムだよ」、「他の奴じゃガンダムになれない」とどこかの誰かみたいな回答をする
 - ・土曜日の試合の際、録画を忘れていたのに気付く、試合開始前に息子に録画を頼む電話する
 - ・しかも帰ってきた際の第一声は「ただいま」ではなく「ガンダムは録れたか?」
 - ・至福の時間は「試合に勝って、帰って妻の料理を食べながらガンダムを見る事」
 - ・息子の発言からおそらく連合VS.ZAFTIIと一緒にプレイしていると推測できる
 - ・息子とたまにガンダムの名セリフの応酬をして遊んでいる
 - ・他の好きな機体はセラヴィーガンダム、アビスガンダム

など。ちなみに和歌山県にある彼の(野球の)記念館にはガンブラが大量に展示されており、そのほとんどは落合氏が作ったものであるらしい。優勝したある年にバンダイからプレゼントされた「ガンダムエクシア ドラゴンズブルーバージョン」も展示されているので興味がある人は行ってみよう

オードリー・バーン(おーどりー・ばーん)[UC][人物名]

- ・OVA「機動戦士ガンダムUC」のヒロイン。栗色のショートカットにエメラルドの瞳を持ち、気品を漂わせる少女。16歳。「ラプラスの箱」の悪用を阻止するべく、単身行動を起こした所を[バナージ・リンクス](#)とめぐり会う。名前自体は偽名で、バ

ナージに名前を聞かれた時に咄嗟に思いついただけの物に過ぎない。由来は彼女が好きな映画『ローマの休日』の主演女優のもじり。

余談だが、由来は同じだが、同名の某お笑いコンビとは **全く** 関係ないので注意。

- なお非公式作品であるが、漫画「機動戦士ガンダム ムーンクライシス」ではメイファ・ギルボードと名乗っていた。19歳で、髪型も腰までのロングヘアとなっている。
- 本シリーズでは、バナージのセリフの中に名前が登場。
- EXVSではナビキャラとしても登場。
 - [関連]-ミネバ・ラオ・ザビ

起き攻め(おきぜめ)[全][テクニック]

- ダウンした相手が起き上がるタイミングに合わせてアシストを出すなどにより、自機に有利な状況に持っていく作戦。本ゲーム以外にもダウン判定が存在するゲームではよく使われる用語。CPUはこれに非常に弱い。

お立ち台(おたちだい)[種][ステージ、スラング]

- ガンガンにおけるSEEDステージの中央の巨大なボールの最上部のこと。アルティメット2面「二の試練」ではここで敵とお見合いをしながら開始することになる。

終わりの無いディフェンス(おわりのないでいふえんす)[V、運命][スラング]

- ヴィクトリーガンダム、及びインパルスガンダムの武装と形態を利用した逃げ技。超高空に陣取ること、敵機体の射撃武器の誘導性と銃口補正を外し、同じ、及びそれに近い技で上昇して来られるまで、ほぼ無傷が狙える...が、このゲームは2on2であるため、相手が地獄を見る事となる。また、アップデートにより天井が従来より下げられたため、狩られる可能性が高くなった
- コストの関係からインパルスよりヴィクトリーで行われることが多い。
- 元ネタは「機動戦士Vガンダム」の前期OP「STAND UP TO THE VICTORY」中の歌詞から。
- EXVSの某大会動画で見せた百式の横 特格CSC シールドでの無限滞空等、使い所を間違えなければ効果的な時間稼ぎの手段となる。コストや体力調整がギリギリな時や敵の覚醒を凌ぎたい時等には有効な手段なため、自機が無限滞空が可能ならやり方を覚えておいて損はない。

次項[か行](#)